

【 降雨によるグラウンド不良で、翌日に順延 】

【二回戦】 B4 7/14 6回終了時、時間切れ。延長7回はタイブレーク

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
制覇クラブ	0	0	0	0	1	2	3			6
アリアケジャパン(株)	1	0	0	2	0	0	1			4

開始 08:56 終了 10:55 所要 1時間59分

【本塁打】 小西清弘(オーバーフェンス)
 【三塁打】 春田朱哉
 【二塁打】 春田一馬 2(エンタイトル/1)
 高原吉弘(エンタイトル)、
 山邊祐二(エンタイトル)、

【審判】 藤島 亨
 小島一輝
 原田武茂
 杉村修一

【制覇クラブ】

背番号	名前	打	安	点	球
⑨	小西 清弘	29	4	1	3 0
⑥	小宮 茂輝	32	4	1	0 0
⑤	春田 一馬	27	4	2	0 0
⑦	三槻 伸也	35	2	1	0 1
⑧	白石 勝太	31	2	0	0 1
②	小宮 良太	32	2	0	0 1
④	山坂 真心	29	2	1	1 0
③	高原 吉弘	31	3	1	0 0
R	井村 昭洋	37	0	0	0 0
3	岡部 洋平	29	0	0	0 0
①	春田 朱哉	20	3	1	1 0
犠1振5残5併0失1		26	8	5	3

先制したのは初回のアリアケジャパン。先頭内野安打を犠打二進後に三盗の二死三塁に山邊の左越えエンタイトル打。三回二四球で得た二死二三塁を逸した後、四回二死後に四球と福田の右前打で一三塁に川端が右前適時打。三塁送球が場外に出て一走が還り2点を追加した。

制覇クラブは初回二死後に春田一が左中間エンタイトル打し、三盗も決めたが無得点。二、三、四回は山坂、小宮茂、三槻に安打が出るが何れも散発。五回先頭の高原が右越えエンタイトル打し春田朱の中越え三塁打で追い上げたが、続く無死三塁は後続が倒れた。時間切れが迫った六回に先頭の春田一が左線二塁打し暴投三進すると捕手牽制悪送球で還り1点差に。四死球の2走者が暴投や盗塁が絡んだ一死二三塁に山坂の左犠飛で三槻が還り同点とした。

六回終了時時間切れで七回は無死一二塁制のタイブレーク戦。制覇クは三振で一死後に小西が左越え3ラン。アリアケジャパンは先頭四球の満塁に山口が中前打し三走を還したが、3番以下のクリーンアップが一飛、三邪飛、右飛に倒れた。

アリアケジャパンは平成30年間の天皇賜杯県大会に4年ぶり6回目の出場で、26年は2勝してベスト4。10年の対馬大会にも参加し、それが県大会初出場。その大会名簿に記された当時20才の選手が今回大会で対馬に初お目見え。

【アリアケジャパン(株)】

背番号	名前	打	安	点	球
⑥	川端 俊星	22	2	2	1 2
⑦	山口 竜輔	27	2	1	1 1
④	中本 翔太	33	3	0	0 0
⑤	山邊 祐二	29	3	1	1 1
②	副島 健太	33	4	0	0 0
①	佐々木恵佑	22	3	0	0 0
⑧	山下 竜也	29	3	0	0 0
③	天野 雅人	26	0	0	0 2
H3	河内 竜二	34	1	0	0 0
R	松永 貴士	43	0	0	0 0
⑨	福田 亮平	29	3	1	0 0
犠2振6残9併0失0		24	5	3	6

[その他の登録選手] 松田正輝(20)
 久保智明(31)、平田淳(41)

